

明治神宮野球場におけるプロ野球が与える経済効果について

横浜国立大学 経済学部

村山龍平

指導教員 居城琢

第1章 はじめに

1.1 背景

1936年に当時の日本職業野球連盟が創立されてから今日に至るまで、日本のプロ野球は常に数多くの人々の人気を集めてきた。シーズン中は毎日のように日本各地で試合が行われ、大きな経済効果を生み出している。東京都新宿区にある明治神宮野球場を本拠地とするプロ野球球団、「東京ヤクルトスワローズ」もまた、2021年、2022年とセ・リーグ連覇を果たし、多くの観客を動員する人気球団である。他球団と比べても、明治神宮野球場で行われるプロ野球が与える経済効果は大きなものと予想される。そこで本研究では、明治神宮野球場で行われるプロ野球が与える経済波及効果を推計することとした。

1.2 研究意義

本研究では、明治神宮野球場で行われるプロ野球が与える経済効果を、ホームチームである東京ヤクルトスワローズのファンによるもの、ビジターチームのファンによるものと分けて推計することで、それぞれどういった違いが見られるのかを調べ、それを活かして今後プロ野球界がより大きな経済効果を生み出すためにどういった工夫ができるかを考える際に意義をもつと考える。

1.3 研究方法

本研究では、Google Form を用いてアンケートを実施し、それによって得られたデータを用いて東京ヤクルトスワローズのファンによる消費額、ビジターチームのファンによる消費額を推計し、経済波及効果を見る。

1.4 先行研究

本研究では、内桶の「茨城ロボッツが茨城県に与える経済波及効果」(2020)、「新型コロナウイルスの影響による、横浜 DeNA ベイスターズホームゲーム観客数制限が横浜市に与える経済的影響」(2021)、猶原の「新型コロナウイルスが倉敷マスカットスタジアムに与えた影響」(2021)を参考に経済波及効果の推計を行った。

内桶の「茨城ロボッツが茨城県に与える経済波及効果」(2020)では、茨城ロボッツグループの活動が茨城県に与える経済波及効果を算出し、地方創生のためにはプロスポーツチームが重要な役割を果たしているとした。「新型コロナウイルスの影響による、横浜 DeNA ベイスターズホームゲーム観客数制限が横浜市に与える経済的影響」(2021)では、横浜 DeNA ベイスターズが行うホームゲームにおける新型コロナウイルスの影響を、産業連関延長表を用いて算出し、定量的に経済的な影響を推計することで新型コロナウイルスの感染対策実施の一助となることを目指した。

猶原の「新型コロナウイルスが倉敷マスカットスタジアムに与えた影響」(2021)では、新型コロナウイルスの影響で中止となった試合やイベントについての推計を行い、地方球場と言えど、そこでの試合やイベントは大きな影響を与えていたという結果が出た。

第2章 スワローズの2022年

2.1 2022年シーズンの状況

2020年からは、新型コロナウイルスの影響により無観客試合が行われたり、入場者制限が設けられたりするなど、感染防止対策のためにコロナ禍以前とは違う形でプロ野球が開催されてきた。しかし、2022年には3年ぶりに観客の人数制限を設けずに開幕を迎えることができた。

2022年シーズンに明治神宮野球場で行われた東京ヤクルトスワローズの主催ゲームは、69試合、これに訪れた来場者の総数は、1,591,219人であり、これを1試合平均で計算すると23,061人となる。

第3章 推計

ここから、2022年シーズンに明治神宮野球場で行われたプロ野球が与える経済波及効果を推計する。

Google Formを用いて、2022年シーズンに明治神宮野球場で行われたプロ野球の観戦に訪れた人を対象に、アンケート調査を行った。その結果を今回の推計に活用する。アンケートでは、①交通手段、交通費、②駐

車場代、駐輪場代、③球場内で支出した飲食費、④球場外で支出した飲食費、⑤チケット代、⑥グッズ代、土産代、⑦宿泊費を調査した。

また、回答者が東京ヤクルトスワローズのファンであるか否かも調査し、それによる違いがあるかに着目する。東京ヤクルトスワローズのファンとして観戦に行った人は回答者のうちの55.8%、ビジターチーム(東京ヤクルトスワローズの対戦相手のチーム)のファンとして観戦に行った人は37.2%であった。その他には、チケットをもらったからという理由や、2022年シーズンに、松中信彦選手以来18年ぶりに三冠王(シーズンにおいて、打率、本塁打、打点の3部門でリーグ1位の成績を収めること)に輝いた村上宗隆選手を見たかったからという理由が見られた。

今回の経済波及効果の推計では、まず、東京ヤクルトスワローズのファンとして来場した人、ビジターチームのファンとして来場した人それぞれの支出額を平均して出す。それに、1試合平均の来場者数をかけて1試合での経済波及効果を推計する。アンケート結果より、1試合当たりの東京ヤクルトスワローズファンの来場者数とビジターチームのファンの来場者数を算出し、仮定する。

東京ヤクルトスワローズファンの来場者数

$$23,061 \times 0.558 = 12,868 \text{ 人}$$

ビジターチームのファンの来場者数

$$23,061 \times 0.372 = 8,578 \text{ 人}$$

3.1 交通費

交通手段としては、回答した人の約90%

が電車を利用して来た。車やバイクで来場した人は約 10%、飛行機を利用して訪れた人は約 2%だった。

東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れた人の交通費の平均は、2532 円であった。それに対し、ビジターチームのファンとして訪れた人の交通費の平均は、835 円であった。これに 1 試合の平均来場者数をそれぞれかける。

計算の結果、1 試合当たりの東京ヤクルトスワローズのファンの交通費は約 32,581,776 円、ビジターチームのファンの交通費は約 7,162,630 円と推計できる。

3.2 駐車場代、駐輪場代

回答した人の中で車やバイク、自転車を利用して球場に訪れた人は、約 18.6%であった。

東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れた人の駐車場代、駐輪場代の平均は、329 円、ビジターチームのファンとして訪れた人の駐車場代、駐輪場代の平均は 6 円である。

1 試合当たりの東京ヤクルトスワローズのファンの駐車場代、駐輪場代の平均は 4,233,572 円、ビジターチームのファンの駐車場代、駐輪場代の平均は 51,468 円であると推計できる。

3.3 球場内での飲食費

明治神宮野球場の球場内では、フレッシュネスバーガーやピザラ、築地銀だこ、サーティワンアイスクリームなど、様々な飲食店が営業しており、各店舗で東京ヤクルトスワローズの選手とのコラボメニューを展開している。また、客席の間を売り子が歩

き回り、ビールやお菓子などの販売も行っている。

東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れた人の球場内での飲食費の平均は、1945 円、ビジターチームのファンとして訪れた人の球場内での飲食費の平均は 1518 円である。

以上より、1 試合当たりの東京ヤクルトスワローズのファンの球場内での飲食費は 25,028,260 円、ビジターチームのファンとして訪れた人の球場内での飲食費の平均は 13,021,404 円と推計することができた。

3.4 球場外での飲食費

プロ野球観戦をするときは、球場内で飲食物を買う人もいれば、球場外のコンビニ等で食べ物を用意してから球場に入る人もいる。また、試合終了後に外食をしてから帰宅するという人もいると考えられる。

東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れた人の球場外の飲食費の平均は 770 円、ビジターチームのファンとして訪れた人の球場外の飲食費の平均は 590 円である。

計算すると、1 試合当たりの東京ヤクルトスワローズのファンが支出する球場外の飲食費は 9,908,360 円、ビジターチームのファンが支出する球場外の飲食費は 5,061,020 円と推計することができる。

3.5 チケット代

東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れた人が支払ったチケット代の平均は、3933 円、ビジターチームのファンとして訪れた人が支払ったチケット代の平均は 3650 円である。

以上より、1 試合当たりの東京ヤクルトス

ワローズのファンとして訪れる人のチケット代は 50,609,844 円、ビジターチームのファンとして訪れる人のチケット代は 31,309,700 円と推計できる。

3.6 グッズ、土産代

東京ヤクルトスワローズの応援グッズには、「応燕傘」という小さな傘があり、東京ヤクルトスワローズが得点した際や、7回裏の東京ヤクルトスワローズの攻撃前にファンがそれを振るという応援がある。その他にも選手名がプリントされたタオルなど、東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れる人のグッズ購入は大きな影響を生み出していると考えられる。

東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れる人のグッズ、土産代の平均は、3052 円、ビジターチームのファンとして訪れる人のグッズ、土産代の平均は 1000 円であった。

ここから計算すると、1 試合当たりの東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れる人のグッズ、土産代は 39,273,136 円、ビジターチームのファンとして訪れる人のグッズ、土産代は 8,578,000 円であると推計できる。

3.7 宿泊費

アンケートに回答した人の中で、明治神宮野球場に訪れるために宿泊したという人は東京ヤクルトスワローズのファンに 2 人だけであった。

よって、東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れた人の宿泊費の平均は 916 円、ビジターチームのファンとして訪れる人の宿泊費の平均は 0 円である。

以上より、計算の結果、1 試合当たりの東京ヤクルトスワローズのファンとして訪れた人の宿泊費は 11,787,088 円、ビジターチームのファンとして訪れた人の宿泊費は 0 円と推計できた。

推計のまとめ

図1 一人当たりの消費額
(単位：円)

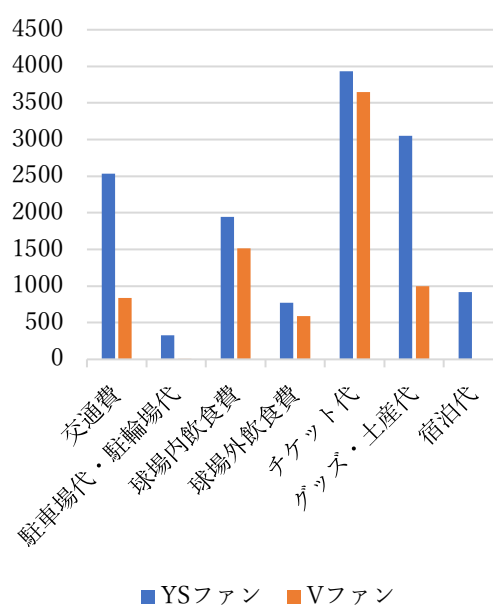


図2 1 試合当たりの全体の消費額
(単位：円)

	YS ファン	V ファン
交通費	32,581,776	7,162,630
駐車場代 駐輪場代	4,233,572	51,468
球場内での 飲食費	25,028,260	13,021,404
球場外での 飲食費	9,908,360	5,061,020
チケット代	50,609,844	31,309,700
グッズ代 土産代	39,273,136	8,578,000

宿泊代	11,787,088	0
-----	------------	---

※YS: 東京ヤクルトスワローズ、V: ビジターチーム

第4章 考察

今回、明治神宮野球場で行われるプロ野球が与える経済的影響について調査し、推計を行った。

交通費に関しては、圧倒的に東京ヤクルトスワローズのファンが支払う金額の方が高かった。1試合当たりの総額で見ても、東京ヤクルトスワローズファンの交通費はビジターチームのファンの交通費の3倍以上であった。やはり、東京ヤクルトスワローズのファンは家が遠くても明治神宮野球場まで足を運ぶ人がいるため、このような結果になったと考えることができる。駐車場代、駐輪場代に関しても同じことが言えるだろう。

球場内外での飲食費について考察する。球場内での飲食費は、東京ヤクルトスワローズのファンの方が、1人当たりの消費額が大きかった。これは、球場内での飲食店の工夫の成果だと考えられる。東京ヤクルトスワローズの選手とコラボしたメニューを出すことで、ファンたちはそれらを買っていくため、球場内で支払う飲食費は大きくなる。また、球場外での飲食費も、東京ヤクルトスワローズのファンの方が消費額は大きかった。明治神宮野球場の周りには、居酒屋などの飲食店が多く見られる。店舗によっては、東京ヤクルトスワローズのファンを意識して、工夫をしているところもある。そ

ういったところに試合前後に訪れるファンが、こういった結果を生み出していると考えられる。

チケット代に関しては、東京ヤクルトスワローズのファンとビジターチームのファンとで大きな違いは見られなかった。通常、応援しているチームにとってホーム球場であれば1塁側やライトスタンド、ビジターであれば3塁側やレフトスタンドの席を取るのが一般的であるが、そこに価格の違いがないことが、チケット代の違いが見られなかった理由として考えられる。

グッズ、土産代に関しては東京ヤクルトスワローズファンの消費額の方が圧倒的に大きかった。これは、熱心なファンはグッズを多く購入するからだと考えられる。明治神宮球場の近くには、東京ヤクルトスワローズのグッズショップが多くあり、そこで応援グッズなどが日々売れていると考えられる。先述したような、チーム特有の応援スタイルで必要なグッズがあるということも大きく影響しているだろう。

宿泊費は、アンケート調査の中では東京ヤクルトスワローズのファンしかかかっていないという結果になった。これは、遠方からでも本拠地での試合を見たいというファンの気持ちの表れであると考えられる。ビジターチームの試合の応援では、宿泊が必要などころまでわざわざ行く人は少ないだろう。

これらの推計結果より、全体として見たときのプロ野球の試合の経済的影響が大きなものであるということが分かったと同時に、やはりホームチームのファンが与える経済効果は、ビジターチームのファンよりもより大きくなるということが分かった。

明治神宮野球場で行われるプロ野球に限らず、全てのプロ野球球団にとって、今後より大きな売り上げ、利益を目指すためには、よりホームチームのファンが消費額を増やすようにチケット代などを安くすることで動員数を増やし、グッズ代や球場内での飲食費の増加を目指したり、逆にビジターチームのファン向けの工夫を充実させることで、これまで以上にビジターチームのファンの消費額を増やすことを目指したりという試みをするのが大切になってくると考えることができるのではないだろうか。

<参考資料>

内桶達史・居城琢（2020）「茨城ロボッツが茨城県に与える経済波及効果」

https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=11119&item_no=1&page_id=59&block_id=74

内桶達史・居城琢（2021）「新型コロナウイルスの影響による、横浜 DeNA ベイスターズホームゲーム観客数制限が横浜市に与える経済的影響」

https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=11797&item_no=1&page_id=59&block_id=74

猶原彬・居城琢（2021）「新型コロナウイルスが倉敷マスカットスタジアムに与えた影響」

https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=11803&item_no=1&page_id=59&block_id=74

[m_detail&item_id=11803&item_no=1&page_id=59&block_id=74](https://ynu.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=11803&item_no=1&page_id=59&block_id=74)

<WEB サイト>

東京ヤクルトスワローズ HP

<https://www.yakult-swallows.co.jp/>

NPB HP

<https://npb.jp/>